



## 2023年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年11月11日

上場会社名 メディキット株式会社

上場取引所 東

コード番号 7749 URL <http://www.medikit.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 景山 洋二

問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長管理部門担当 (氏名) 中島 崇 TEL 03-3839-8870

四半期報告書提出予定日 2022年11月14日 配当支払開始予定日 2022年12月19日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	10,562	5.5	2,024	8.1	2,061	8.3	1,196	14.6
2022年3月期第2四半期	10,008	4.0	2,202	16.4	2,249	15.6	1,400	31.4

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 1,414百万円 (0.5%) 2022年3月期第2四半期 1,420百万円 (33.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	71.29	
2022年3月期第2四半期	83.33	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	51,294	46,198	90.1
2022年3月期	51,057	45,772	89.6

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 46,198百万円 2022年3月期 45,772百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		60.00	60.00
2023年3月期		30.00			
2023年3月期(予想)				30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,079	4.7	4,201	5.0	4,250	6.6	2,799	6.5	166.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期2Q	18,880,000 株	2022年3月期	18,880,000 株
期末自己株式数	2023年3月期2Q	2,093,120 株	2022年3月期	2,101,520 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期2Q	16,782,080 株	2022年3月期2Q	16,805,280 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の第7波が急拡大いたしました。政府及び各自治体から行動制限が発令されることはなく、経済活動は回復基調となりました。一方で、ロシアのウクライナ侵攻等の影響で原材料価格や原油価格が高騰し、米欧の政策金利引上げによる急激な円安進行やインフレ圧力の高まりなどから景気の先行きが不透明な状況となっております。

当社グループの属する医療関連業界におきましては、新型コロナウイルス感染症に対する懸念が続きますが、手術件数や検査件数に回復の動きが見られ、一方で本年度の診療報酬改定に伴い対応が求められる厳しい状況が続いております。

このような中で当社グループは、中期経営計画“NEXT300”を策定し、売上高300億円を目標としてスタートさせております。当社グループは、医療を通じて社会に貢献し、共感いただける企業を目指すことを経営理念として、品質の高い製品を医療現場に提供することを通じ、更なるビジネスの拡大への取り組みを進めております。

販売面におきましては、昨年上市しました静脈留置針「スーパーキャス7」と、人工透析用留置針「ハッピーキャスProFlex」の拡販と普及を図り、インターベンション類において既存製品の改良品「スーパーシースCoat Plus」を投入し、不整脈治療用のブレイデッドシース「AbRoad STOUT」及びスティラブルシース「AbRoad FLEX」を上市するなど販促活動に努めてまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高10,562百万円（前年同四半期比5.5%増）、利益面においては、薬事関連費用の計上等で、販売費及び一般管理費が増加した影響により、営業利益2,024百万円（同8.1%減）、経常利益2,061百万円（同8.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益1,196百万円（同14.6%減）となりました。

当社の商品区分である品目別の売上高は以下のとおりであります。

人工透析類におきましては、3,703百万円（前年同四半期比0.2%減）となりました。静脈留置針類におきましては、2,910百万円（同13.2%増）となりました。インターベンション類におきましては、3,942百万円（同6.0%増）となりました。

なお、当社グループは、医療機器の製造・販売事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の財政状態は以下のとおりであります。

総資産は、前連結会計年度末比（以下前期末比という）236百万円増（0.5%増）の51,294百万円となりました。

流動資産は同335百万円増（0.9%増）の38,876百万円、固定資産は同98百万円減（0.8%減）の12,417百万円となりました。

流動資産増加の主な要因は、現金及び預金の増加183百万円によるものです。

固定資産のうち有形固定資産は、同184百万円減（1.7%減）の10,650百万円となりました。

無形固定資産は、同44百万円減（35.1%減）の82百万円となりました。

投資その他の資産は、同130百万円増（8.4%増）の1,685百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前期末比190百万円減（3.6%減）の5,095百万円となりました。

流動負債は同203百万円減（4.6%減）の4,211百万円、固定負債は同13百万円増（1.5%増）の884百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前期末比426百万円増（0.9%増）の46,198百万円となりました。この主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上と配当金の支払いにより、差引き利益剰余金が189百万円増加したことによるものです。

この結果、自己資本比率は90.1%となりました。

#### (キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、以下に記載のキャッシュ・フローにより、前連結会計年度末に比べ183百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末には18,301百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は1,913百万円（前年同四半期比176.8%増）となりました。内訳の主なものは、税金等調整前四半期純利益2,045百万円と、法人税等の支払額540百万円等であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は855百万円(前年同四半期比62.4%増)となりました。内訳の主なものは、有形固定資産の取得による支出735百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は1,006百万円(前年同四半期比20.6%増)となりました。内訳は、配当金の支払額1,006百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、ロシアのウクライナ侵攻の長期化、原材料・原油価格の高騰、円安進行に伴うインフレ圧力の高まり、また新型コロナウイルス感染状況によって社会及び経済への影響が当面継続すると予想されます。

当社グループにおきましては、新型コロナウイルス感染症の感染状況を注視し、医療現場での感染リスク低減に対するニーズに応え、人工透析類並びに静脈留置針類において安全機能を備えた針刺し防止機構付き留置針の拡販と普及を図ってまいります。また、インターベンション類におきましては、既存製品の改良品及び新製品の拡販に取り組んでまいります。

また、医療制度改革が進められる中、当社グループにおきましては、更なる効率化を進めるとともに、「創造・迅速・確実」をモットーに、より高品質の製品・サービスの提供に努めてまいります。

通期の連結業績予想につきましては、売上高21,079百万円(前年同期比4.7%増)、営業利益4,201百万円(同5.0%減)、経常利益4,250百万円(同6.6%減)、親会社株主に帰属する当期純利益2,799百万円(同6.5%減)を計画しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	28,118,088	28,301,730
受取手形及び売掛金	5,004,407	5,136,505
金銭の信託	1,500,000	1,500,000
商品及び製品	1,506,991	1,613,154
仕掛品	1,450,174	1,457,257
原材料及び貯蔵品	669,669	714,420
その他	292,594	153,940
貸倒引当金	△501	△514
流動資産合計	38,541,423	38,876,494
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,629,000	3,689,490
機械装置及び運搬具(純額)	2,370,153	2,993,440
工具、器具及び備品(純額)	1,503,663	1,527,356
土地	2,413,809	2,413,809
建設仮勘定	918,039	26,267
有形固定資産合計	10,834,667	10,650,364
無形固定資産	126,630	82,185
投資その他の資産		
投資有価証券	927,705	1,053,723
保険積立金	65,222	65,222
繰延税金資産	419,674	423,243
その他	143,320	143,885
貸倒引当金	△750	△750
投資その他の資産合計	1,555,173	1,685,325
固定資産合計	12,516,470	12,417,875
資産合計	51,057,894	51,294,370

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,575,802	2,400,556
未払法人税等	604,515	719,725
賞与引当金	397,344	416,930
その他	837,158	674,261
流動負債合計	4,414,819	4,211,472
固定負債		
退職給付に係る負債	84,555	83,619
資産除去債務	17,073	19,812
その他	769,127	780,613
固定負債合計	870,757	884,045
負債合計	5,285,577	5,095,518
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,241,250	1,241,250
資本剰余金	10,378,585	10,384,459
利益剰余金	37,165,423	37,355,175
自己株式	△3,256,561	△3,243,544
株主資本合計	45,528,697	45,737,341
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	107,618	126,396
為替換算調整勘定	100,052	317,139
退職給付に係る調整累計額	35,949	17,974
その他の包括利益累計額合計	243,620	461,511
純資産合計	45,772,317	46,198,852
負債純資産合計	51,057,894	51,294,370

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	10,008,392	10,562,705
売上原価	5,939,938	6,450,465
売上総利益	4,068,453	4,112,239
販売費及び一般管理費	1,865,731	2,087,783
営業利益	2,202,722	2,024,455
営業外収益		
受取利息	1,286	1,569
投資事業組合運用益	833	—
受取配当金	8,652	7,456
受取地代家賃	22,537	20,963
売電収入	11,440	13,249
その他	30,126	17,506
営業外収益合計	74,877	60,747
営業外費用		
支払利息	3,660	3,741
投資事業組合運用損	—	740
為替差損	15,566	10,912
減価償却費	2,075	2,025
売電費用	5,841	5,300
その他	1,333	1,163
営業外費用合計	28,477	23,882
経常利益	2,249,121	2,061,320
特別利益		
固定資産売却益	45	—
会員権売却益	113	—
特別利益合計	159	—
特別損失		
減損損失	55	—
固定資産除却損	3,478	15,620
特別損失合計	3,533	15,620
税金等調整前四半期純利益	2,245,747	2,045,700
法人税、住民税及び事業税	610,915	851,269
法人税等調整額	234,445	△2,030
法人税等合計	845,360	849,239
四半期純利益	1,400,386	1,196,461
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,400,386	1,196,461



(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	1,400,386	1,196,461
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,971	18,778
為替換算調整勘定	85,543	217,087
退職給付に係る調整額	△70,056	△17,974
その他の包括利益合計	20,459	217,890
四半期包括利益	1,420,845	1,414,351
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,420,845	1,414,351
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,245,747	2,045,700
減価償却費	618,416	620,699
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	23	13
賞与引当金の増減額 (△は減少)	1,432	19,586
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△105,759	△28,528
長期末払金の増減額 (△は減少)	△1,208,200	—
受取利息及び受取配当金	△9,938	△9,026
支払利息	3,660	3,741
投資事業組合運用損益 (△は益)	△833	740
固定資産除売却損益 (△は益)	3,432	15,620
売上債権の増減額 (△は増加)	△226,864	△132,097
棚卸資産の増減額 (△は増加)	127,155	△151,592
仕入債務の増減額 (△は減少)	△9,228	209,711
その他	△159,766	△142,410
小計	1,279,274	2,452,155
利息及び配当金の受取額	9,938	9,026
利息の支払額	△7,342	△6,778
法人税等の支払額	△590,623	△540,727
営業活動によるキャッシュ・フロー	691,246	1,913,676
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△11,500,000	△11,500,000
定期預金の払戻による収入	11,500,000	11,500,000
有形固定資産の取得による支出	△554,328	△735,815
有形固定資産の売却による収入	45	—
無形固定資産の取得による支出	△1,250	△5,500
投資有価証券の取得による支出	△1,500	△4,000
投資事業組合からの分配による収入	31,331	1,276
関係会社出資金の払込による支出	—	△96,593
会員権の取得による支出	—	△4,800
ゴルフ会員権の売却による収入	113	—
長期貸付けによる支出	△705	—
長期貸付金の回収による収入	124	1,091
差入保証金の差入による支出	△1,050	△12,387
差入保証金の回収による収入	504	1,282
投資活動によるキャッシュ・フロー	△526,713	△855,445
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	△834,512	△1,006,256
財務活動によるキャッシュ・フロー	△834,512	△1,006,256
現金及び現金同等物に係る換算差額	53,708	131,667
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△616,270	183,641
現金及び現金同等物の期首残高	17,491,119	18,118,088
現金及び現金同等物の四半期末残高	16,874,848	18,301,730

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

前第2四半期連結累計期間(自2021年4月1日 至2021年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日 至2022年9月30日)

当社グループは、医療機器の製造・販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。